

会 議 録

(5-1)

会議の名称		令和7年度 第3回武里地区地域づくり推進協議会	
開催日時		令和8年1月23日(金曜日)	開 会 午後3時00分 閉 会 午後4時20分
開催場所		武里市民センター2階 会議室1	
議長(会長等)氏名		会長 伊澤 秀雄	
出席者	委員氏名	(出席人数: 12人)	
		伊澤 秀雄、山崎 勇喜、久保谷 実、河合 みよ子、志村 美智子	
		樋口 誠、砂川 優希、阿部 千頭、板垣 浩太、小笠原 麻理	
	綿貫 稔、岡田 不二夫		
事務局	(出席人数: 5人)		
	市民生活部長 飯口 信彦、市民生活部参事 矢野 仁史		
	武里市民センター 舟田 由彦、小川 裕司、宮本 順子		
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項について (1) 中間発表の内容について 4 その他 5 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当:	
配布資料		資料1 市民センターを拠点とした地域づくりについて中間発表資料(案)	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1. 開会】
会長	【2. あいさつ】 《伊澤会長あいさつ》
事務局	春日部市地域づくり推進協議会条例第6条の規定により、議長を伊澤会長に願います。
議長	【3. 協議事項について】
	(1) 中間発表の内容について
	「市民センターを拠点とした地域づくりについて中間発表資料(案)」について、事務局より説明を求める。
事務局	《会議開催状況等について、資料に基づき説明》
委員	《質疑・応答なし》
議長	『地域が求める市民センターのあり方』について、事務局より説明を求める。
事務局	《資料に基づき説明》
委員	《質疑・応答》
議長	先日、避難所開設訓練が実施されたが「現状・課題 ②防災、防犯拠点としての情報が不足している」をどう捉えているのか。
事務局	避難所開設訓練を年2回実施している。今年度1回目は6月と2回目は先日1月17日に実施した。自治会の方にも周知し、一般も含めて40～50人の参加があった。今後も引き続き実施していく予定である。普段参加していない人にも参加してもらうにはどうしたらよいかを課題である。
議長	どのように行われたのか。
事務局	市の危機管理防災課職員が講師となり、10人くらいずつに4班に分け、段ボールベットの組み立てなどを行った。わかりやすい説明で、うまく進めることが出来た。
議長	実施していることも知らない人もいるので、公民館だよりに掲載したり、周知徹底する必要があるのではないか。
事務局	ブログ、ポスター、公民館だより等に掲載しているが地域住民に周知徹底までには至らない。情報配信についても課題である。
委員	情報提供として、今回避難所開設訓練に際し公民館から依頼もあり学校でも全家庭にメール送信したり、ブログに掲載したりしてお知らせした。当日参加してみたら、子どもや保護者の参加がほぼいなかった。声をかけても来ない状況もある。意欲を持って参加できるような工夫等が必要ではないかと実感した。
議長	体育祭でもボランティアで中学生に協力してもらっている。学校との連携を図り、ボランティア活動として子ども達に関わってもらうのもよいのではないか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	以前、宮田自治会と市民センターが共催した防災訓練を実施した際に、自治会では自衛隊を呼んだり、炊き出しのカレーがあったり、子ども達もとても楽しそうだった。市民センターの方はどのようなことが行われ、人の流れはどうだったのか。
事務局	こどもの参加は少なかったが、自治会からの声かけ等もあり、人の流れはあった。内容としては危機管理防災課の職員の講演、避難所開設訓練を行い、50名以上の参加があった。中身を充実させることと、子ども達が参加したいと思えるような企画が必要である。
事務局	【現状・課題】「⑧市民センターへ行くことのできる、公共交通が整っていない」について
事務局 副議長	アイデアやご意見を募集したい。 武里地区はエリアが広く、とても遠い。イベントがあってもこれない。⑧は結果が出せない。問題点、現状等など、課題、対策を具体的に挙げるのは難しい。
委員	【目指す姿】「③武里地区には、いつでも行きたくなる、頼りになる市民センターがある」について
委員	公民館に来たくなるような、空間や環境作りが必要ではないか。
委員	【今後の方向性と検討課題】 「④防災訓練の内容や実施回数の見直しを検討」について
委員	市民センターが、遠くの自治会まで行って訓練を行うことは出来ないか。
委員	各自治会で実施しているので特にやらなくてもよいのではないか。
委員	自治会で行うことが難しいところもあるのではないか。
委員	自治会で内容を決めて行うことは出来るのではないか。
委員	武里地区には40の自治会があり、各自治会に補助金が出ている。大きなイベントとして複数の自治会でまとまればよいのではないか。
委員	全体で大きく防災訓練を行うことはよいが、避難訓練に一人で行けない、出歩けないお年寄りや車椅子の人に対して重要視されていないのではないか。人を助けようという方向には行っていないのではないか。
事務局	どこにスポットをあてて実施していくのか、委員の皆様の意見を伺いながら検討していく。
委員	先日の訓練は、自治会館へ防災職員を呼んで実施できると思った。学校が主体となって訓練を行うことは難しい。学校施設を貸し出すことは可能。自治会に来てもらって行うことは出来るのではないか。まずは小さな規模から行い、そして大きな規模にしたらよいのではないか。中学生は支援される側ではなく、支援する側として係わることが出来るため、ボランティアとして参加できるのではないか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	『地域住民自身でどのような活動が展開できるか』について、事務局より説明を求める。
事務局	《資料に基づき、説明》 《質疑・応答》
委員	【現状・課題】「④若い世代の意見を取り入れる機会が少ない」について
委員	自治会でも「若い人が入ってこないため、若い人の意見が出てこない。」という現状である。
委員	【現状・課題】「③外国籍の居住者が増えてきており、不安を感じている住民がいる」について
委員多数	「不安を感じている住民がいる」という表現を「交流する場が少ない」という表現にした方がよいのではないかと。 変更した方がよいとの意見で一致。
委員	【今後の方向性と検討課題】①地区体育祭等のイベントについては、誰もが参加しやすい楽しい企画を増やせるよう検討について
委員	自治会連合会や公民館が主体となりで行っている。こどもから大人まで幅広い年代が楽しく参加できるようにと考えている。
委員	自治会として全体でのまとまりがないのではないかと。
議長	参加できない自治会も増えている状況である。
委員	参加するしないに関しては、自治会に判断を任せている。
委員	大きなイベントは体育祭と文化祭くらいではないかと。
副議長	高齢化が進んでおり、参加できない方もいる。自治会を退会する人も増えている。
委員	一つの自治会での活動から始めて大きくまとめていく方がよい。太鼓を例にすると、こどもの頃から関わっている人が大人になって指導する立場となって関わってくれている。主催のイベントに参加してみるなど身近なところから広げていけたらと思う。 【今後の方向性と検討課題】「②若い人の意見を取り入れる手法を検討」について
委員	同世代でまとまって話す機会や意見ボックス等を用意してもよいのではないかと。
委員	【今後の方向性と検討課題】「④同年代、多世代、異文化が交流するイベント等の開催を検討」について 若い世代・異世代等、様々な人を集めて意見を交わすことが、この推進協議会の本来のあり方ではないのか。現状の課題について検討し、どうするか、いつまでに何をするかの見通しを示して期限を決めておく方がよい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長 事務局	会議に他の人の意見をもらうために呼ぶこともよいと思う。 条例において委員以外の方へ意見を求めることは出来る。 この協議会委員の任期は2年となっている。2年間の任期の中で皆様から意見をもらい、市長へ答申していきたい。
委員	すぐに検討できるものについては、先に検討した方がよいのではないか。
委員	期限を決めて実施するのは難しいのではないか。
委員	検討課題の優先順位を決めて、話し合っていく方がよいのではないか。
議長	課題を絞って検討する事も出来る。委員の皆様はどうしていくのがよいか、意見を頂きたい。 【今後の方向性と検討課題】「⑤情報発信の仕方や自治会活動に関することなどを先進事例を参考に検討」について
委員	豊野地区や豊春地区では、情報誌をつくっている。
委員	とりあえず動いてみたらよいのではないか。若者の意見を聞くなどはすぐ出来ると思う。
委員	情報発信としては、ニュースソースさえいただければ、美術部や生徒会など部活動の単位で関われるのではないか。得意な子はたくさんいるので、こども達だけでも関わっていけるのではないかと思う。
議長	検討課題の数をしぼるのか、そのままでいくのか、意見を伺いたい。
委員	中間報告の段階で、意見の数はしぼらなくてもよいのではないか。
委員	2年間でまとめるのであれば、色々意見を交換しながらでよいのではないか。
委員	「②若い人の意見を取り入れる手法を検討」については早めに取りかかれるので、早めに取りかかる方がよいのではないか。
議長	発言いただいた意見については、中間発表の資料として事務局にまとめてもらう。
議長	【4. その他】について説明を求める
事務局	《今後の会議日程について説明》
委員	《質疑応答・無し》
議長	本日の議事はすべて終了となる。
事務局	【5. 閉会】
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和8年2月24日</p> <p>署名者の職・氏名 委員 樋口 誠</p>	